

主要諸元:(120T)

- 全長×全幅×全高/4,330×1,760×1,480mm
- ホイールベース/2,600mm
- トレッド/前:1,535mm 後:1,525mm
- 車両重量/1,300kg
- 最小回転半径/5.2m
- エンジン/8NR-FTS (1,197cc 直列4気筒DOHC-インタークーラーターボ)
- 最高出力/116ps/5,200~5,600rpm
- 最大トルク/18.9kgm/1,500~4,000rpm
- JC0.8モード燃費/19.4km/ℓ
- ミッション/ Super CVT-i
- ブレーキ/前:ベンチレーテッドディスク 後:ディスク
- タイヤサイズ/195/65R15
- 駆動方式/FF
- 乗車定員/5名
- 車両本体価格(札幌地区)/2,600,837円(消費税込)



ラインアップは全9種。FFが120T/RS/180S/150X、4WDが150Xのみで、150XにはFF/4WDともSパッケージ/CPパッケージがある。RSと180Sは1.800ccエンジンで、RSは6速マニュアルとなる。外観はRSがぐっとスポーティに引き締められたディテールを持つが、その他グレードに大きな違いはない。大きく差別化されているのは内装である。120Tはインパネの装飾が木目調、シートは本革を基本に、スエード/エンボスレザー/合皮と

■スポーティなインテリアと大胆なエクステリアがマッチ

ライナップは全9種。FFが120T/RS/180S/150X、4WDが150Xのみで、150XにはFF/4WDともSパッケージ/CPパッケージがある。RSと180Sは1.800ccエンジンで、RSは6速マニュアルとなる。外観はRSがぐっとスポーティに引き締められたディテールを持つが、その他グレードに大きな違いはない。大きく差別化されているのは内装である。120Tはインパネの装飾が木目調、シートは本革を基本に、スエード/エンボスレザー/合皮と

吸気を促進させる仕組み。このため一定の排気量に達しないと加給されない。この特性を利用し、加給されない状態では燃費性能、加給された状態では運動性能というように両立を図ることができる。燃費面では小排気量の方が有利なので、それまで搭載していたエンジンよりも排気量を小さくし(ダウンサイジング)ターボを装着するという手法は、極めて合理的と言える。

面白いことにオーリス120Tにおいては、ターボであることをメーカーが積極的に訴求していない。もちろんカタログには明確に書かれているものの、WEBやマスメディアにおいては、ことさらにダウンサイジングターボを謳っているわけではない。フルモデルチェンジではなくマイナーチェンジであることに加え、国内でダウンサイジングターボの有用性がしっかりと認知されるタイミングを見計らっているのかも知れない。

■セーフティ機能とエコ機能が充実

今回のマイナーチェンジで新たに装備されたのが、衝突回避支援パッケージ「Toyota Safety Sense C」である。1.500ccモデルのみオプション設定で、1.200cc/1.800ccには標準搭載される。これはプリクラッシュセーフティシ

ヨーロッパで人気のダウンサイジングターボ版が登場 安全性能・エコ性能に加え、スポーツ性も格段にアップ



TOYOTA AURIS

■テキスト=横山 聡史(Lucky Wagon) ■Photo=川村 勲(川村写真事務所)
■取材協力=ネットヨタ札幌 プラザつきさむ Ta(011)851-2181 ■使用タイヤ=GOOD YEAR (E-Grip ECO EG01)

プロフィール

■ダウンサイジングターボが トップグレードに

オーリスは2006年に初登場したCセグメントの5ドアハッチである。2012年に現行の二代目へとフルモデルチェンジされ、機動戦士ガンダムに登場するキララクター「シャア・アズナブル」の専用機をイメージした「シャア専用オーリス」が話題となった。これまで1.500ccと1.800ccを主軸にしてきたが、今回のマイナーチェンジでは新たに120Tが加わり、トップグレードとなった。

120Tは、その名の通り、1.200cc直噴エンジンをターボで加給したモデル。ヨーロッパで人気を博している、燃費と運動性能を両立させたダウンサイジングターボである。ただし日本においてダウンサイジングターボは、今ひとつ市民権を得ていないように思われる。バブル全盛の頃に各メーカーが競うように出力アップを図った際、ターボやスーパーチャージャーは切り札だった。排気量はそのままに、飛躍的にエンジン性能を引き出すことができたからだ。しかしそれも今は昔、現代はエコ性能が求められ、ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車も世に出回り始めている。このためターボは無用の長物と認識されてしまいかもしれないが、実は正反対である。

ターボはエンジン排気でタービンを回し、同軸上にあるもう一つのタービンで強制的に

異なる素材が組み合わされ、車内全体をブラックとオレンジ系で統一させている。シンプルかつスポーティ、そしてお洒落感も併せ持つカラーリングである。

一方のエクステリアデザインだが、先代に比べればかなり大胆というか、個性的なもの。昨今のトヨタはレクサスブランドのエクステリアイメージを継承し、各普及モデルごとに昇華しているような印象である。特にフロント部はトヨタの新しいデザインコンセプト「キーンルック」に基づいており、空力や冷却性能に配慮した台形のバンパー開口が特徴。オーリスも押し出しが強く、存在感抜群の顔を持っている。とは言え、基本はオーソドックスな2ボックススタイルなので、リアハッチからの荷物の出し入れや取り回しの容易さは魅力的だ。

全体のシルエットは曲線メインのヌメツとしたものだが、細部の作り込みは直線が取り込まれた大胆なもので、特にリアハッチまわりやリアコンビネーションランプの造形は他にはない個性を主張している。フロントオーバーハングが長く、真横から見るといかにも軽快に走りそうなくさび形である。

ディーラーメッセージ

ネットトヨタ札幌 プラザつきさむ
営業スタッフ

鈴木 麻未さん

使い勝手の良いオーリスに、エコ性能・安全性が充実した120Tが新たに加わり、選択の幅がまたひとつ広がりました。そのオーリスはもちろん、常時8種類の試乗車をご用意しております。当店は地下鉄「福住駅」、札幌ドームに近く、国道36線に面していますので、これからのシーズン、コンサドーレやファイターズの応援でお出かけになる際は、是非お気軽にご来店頂ければと思います。土日祝日にはポップコーンの無料サービスもご用意して、スタッフ一同お待ちしております。



インプレッション

ターボの美点だけを活かした 軽快な運動性能

さて120Tのエンジン特性だが、前述したターボの特性をかなりマイルド方向に振っている。特定の回転数を超えると急激にトルクが盛り上がる所謂ドカンターボではなく、アクセル開度に伴って自然なフィールでトル

ステム（レーザレーダーと単眼カメラによる衝突回避）、レーンデパーチャーアラート（車線逸脱を警告）、オートマチックハイビーム（ハイビームで走行可能な状況の場合、自動的にハイビームに切り替え）という3つの機能から構成される、総合的な衝突回避支援パッケージである。安全機能は他に、LEDヘッドランプ（オートレベリング機能付き）+LEDクリアランスランプ+ディライト機能付きLEDイルミネーション、EBD（電子制動力配分制御）付きABS+ブレーキアシスト、前席サイドエアバッグ+前後席カーテンシールドエアバッグなどが設定され、トヨタらしく抜かりがない。

またエコ機能ではアイドリングストップ（120Tに標準装備）のほか、直噴エンジン、7速マニュアルモードも持つCVTなどにより、JC08モードで19・4 km/Lを実現。1・200ccのNA車なら驚く数字ではないが、この車格に搭載した1・200ccのダウンサイジングターボ車としてはかなり優秀だろう。

クがついて来る味付け。予備知識無しに乗り込むと、そのナチュラルさに驚くことだろう。その一方、ターボの美点はしっかりと残されており、1・200ccとは思えない力強いトルク感だ。意図的にアクセルを強めに踏めば、軽快にダッシュしてくれる。エンジン特性を見ると、18・9 kgmの最大トルクを1・500～4・000rpmで発生するとある。とてもフラットな特性なので、違和感を伴わず、かつ軽快な出足を実現しているということだ。普通トルクは大排気量化、あるいは加給によって得られるので、モリモリとかドカンといった表現がなされるが、このエンジンは軽快なトルク感というのがピッタリ。もたつきのないCVTも軽快感に役買っている。マニュアルモードでは7速シフトとして操作でき、ステアリング両脇にバドルシフトも備わっているの

で、積極的にドライブを楽しむこともできる。乗り心地は極めてしなやかで軽快。特に高められたボディ剛性とダブルウィッシュボーン式コイルスプリングを蓄られたリアサスペンションの恩恵で、リアの挙動がナチュラルに感じられる。ステアリング操作にノーズが素直に追従し、間髪入れずにリアが反応する。極端にオーバードでもアンダーでもなく、こちらもナチュラルなフィーリングだ。今回は試せなかったが、ワインディングに持ち込んでも面白そうなステアリング特性である。同様に雪道での運転もかなりストレスが減るものと推測される。ナチュラルかつ軽快な挙動と、ターボならではの力強い加速。オーリス120Tは、ドライバーの意志に忠実に対応してくれるので、腕に覚えのあるドライバーであればあるほど、操る楽しみさえも与えてくれそうだ。